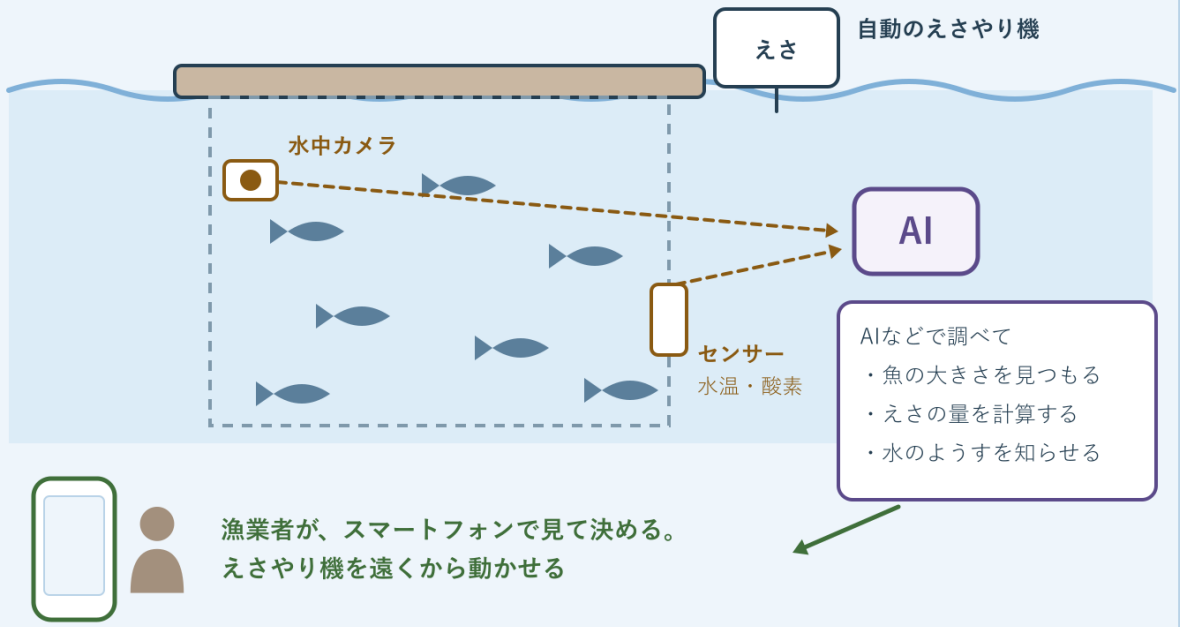
漁業とAI（いけすと海のようすを見守る）

漁業では、カメラやセンサー、AIをどのように使っているのだろう

育てる漁業（養殖）のいけす



とる漁業：魚がいる場所の予測



海の水温などのデータと、
これまでの漁のデータを、
AIなどで分析する

**魚が集まりそうな場所を予測して、
漁業者のスマートフォンに表示する**

→ さがし回る時間や燃料を減らす

予測は外れることもある

よいことと、気をつけること

- えさのむだを減らせる（海をよごしにくい）
- 見回りの手間が減る
- 開発中の技術もある。地いきや魚でちがう
- 最後に決めるのは、漁業者

※ 模式図。開発中の技術もふくむ。使われ方は地いきや魚によってちがう。